

資格取得前の実務経験証明書

機械土工技能者の能力評価基準において、申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。
実務経験期間の記載に間違いが無いことは、「社会保険/建設業退職金共済制度等の加入履歴」「賃金台帳」等で確認しました。

① 令和 1 年 12 月 1 日

証明者

② 事業所名 : 株式会社機械証明 ⑤ 役職名 : 代表取締役社長

③ (事業者ID) : (XXXXXXXXXXXXXXXX) ⑥ 証明者名 : 証明 太郎

④ 所在地 : 東京都台東区東上野〇-〇-〇

⑦ フリガナ	キカイ ドコウ	職種 (技能者の呼称)	機械土工 技能者
⑧ 申請者の氏名	機械 土工		大分類14「運転手(特殊)」 (01)「運転手(特殊)・建設機械運転工」 (06)「掘削機械運転工」
⑨ 技能者ID	123456789101234-1		

⑩ 工事名 (実務経験の内容)	⑪ 職長	班長	⑫ 実務経験期間
東上野川改修工事 堤防補強工事	—	—	平成18年8月 ~ 平成19年2月 (0年7ヶ月)
岩手県〇〇地区緊急災害復旧工事	—	—	平成19年3月 ~ 平成19年3月 (0年1ヶ月)
稻荷橋補強工事	—	—	平成19年4月 ~ 平成19年5月 (0年2ヶ月)
御徒町地区補強工事	—	—	平成19年6月 ~ 平成19年9月 (0年4ヶ月)
新東京横断自動車道 上野インター新設工事	—	○	平成19年11月 ~ 平成20年7月 (0年9ヶ月)
上野機械土木大学 松が谷キャンパス造成工事	—	○	平成20年8月 ~ 平成20年10月 (0年3ヶ月)
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
			~ ()
建設キャリアアップシステムに登録された 最初の資格等取得月以前の実務経験期間			経験期間合計: 2 年 2 ヶ月 (うち職長としての経験期間: 年 ヶ月) (うち班長としての経験期間: 1 年 0 ヶ月)

※建設キャリアアップシステムに登録された、建設業に関する資格、研修、表彰等を初めて取得した時期より以前のみ記載すること。

(例) 建設キャリアアップシステムに登録された資格が2010年4月10日だった場合 → 実務経験証明は2010年3月以前を記載。

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には、レベル判定を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

⑬ 申請者 (自署) 機械 土工



資格取得前の実務経験証明書（様式3） 入力方法

- ① 作成日を和暦で入力してください。
数字は、半角数字で入力してください。
- ② 証明者の所属する事業署名を建設キャリアアップシステム登録名で入力してください。
会社印を捺印してください。
- ③ 建設キャリアアップシステムに登録している事業者IDを半角数字で入力してください。
- ④ 事業所の所在地を入力してください。
- ⑤ 証明者の役職を入力してください。
- ⑥ 証明者名を入力し、役職員もしくは代表印を捺印してください。
- ⑦ フリガナは全角カタカナで入力してください。
姓と名の間に空白（スペース）を1文字入力してください。
- ⑧ 申請者の氏名を入力してください。
建設キャリアアップシステムに登録している文字で入力してください。
- ⑨ 技能者IDを半角数字で入力してください。
- ⑩ 工事名（実務経験の内容）は、場所、工事の内容がわかるように入力してください。
- ⑪ 職長、班長をプルダウンから選択してください。
まず、職長として働いていたら職長欄を「○」としてください。していなければ「-」としてください。
次に、班長欄を選択してください。職長を選択している場合は、班長は選択できません。
職長とは、職長又は職長の直近下位に配置され、複数の班を束ねる者をいいます。
班長とは、職長以外の者であって、複数の班や技能者を束ねる者をいいます。
- ⑫ 実務経験期間は自動計算されます。
期間を西暦で入力してください。
数字は半角数字で入力してください。正しく入力されると、和暦で表示されます。
(例) 平成20年12月 ⇒ 「2008/12」もしくは「2008年12月」
建設キャリアアップシステムに登録された就労期間の起算点（様式2の経験年数に記載された就労期間の最初の年月）より前の実務経験のみ記載してください。
- ⑬ 誓約書のサインは自署で記入します。
また、捺印が必要です。